

建築物エネルギー消費性能適合性判定等申請手数料

I 工場等以外の部分

単位：円

種別	区分 (対象面積)	省エネ適判	変更 省エネ適判	軽微変更 該当証明
(一)非住宅建築物等 のうち工場等の用に供 する部分以外の部分 (モデル建物法)	300 m ² ～2,000 m ² 未満	170,000	86,000	86,000
	2,000 m ² ～5,000 m ² 未満	279,000	140,000	140,000
	5,000 m ² ～10,000 m ² 未満	345,000	173,000	173,000
	10,000 m ² ～25,000 m ² 未満	485,000	243,000	243,000
	25,000 m ² ～	562,000	282,000	282,000
(二)非住宅建築物等 のうち工場等の用に供 する部分以外の部分 (モデル建物法除く)	300 m ² ～2,000 m ² 未満	300,000	151,000	151,000
	2,000 m ² ～5,000 m ² 未満	469,000	235,000	235,000
	5,000 m ² ～10,000 m ² 未満	568,000	285,000	285,000
	10,000 m ² ～25,000 m ² 未満	763,000	382,000	382,000
	25,000 m ² ～	870,000	435,000	435,000

II 工場等の部分

種別	区分 (対象面積)	省エネ適判	変更 省エネ適判	軽微変更 該当証明
(三)非住宅建築物等 のうち工場等の用に供 する部分 (モデル建物法)	300 m ² ～2,000 m ² 未満	40,000	21,000	21,000
	2,000 m ² ～5,000 m ² 未満	102,000	51,000	51,000
	5,000 m ² ～10,000 m ² 未満	151,000	76,000	76,000
	10,000 m ² ～25,000 m ² 未満	191,000	95,000	95,000
	25,000 m ² ～	237,000	119,000	119,000
(四)非住宅建築物等 のうち工場等の用に供 する部分 (モデル建物法除く)	300 m ² ～2,000 m ² 未満	43,000	22,000	22,000
	2,000 m ² ～5,000 m ² 未満	105,000	53,000	53,000
	5,000 m ² ～10,000 m ² 未満	154,000	78,000	78,000
	10,000 m ² ～25,000 m ² 未満	191,000	95,000	95,000
	25,000 m ² ～	237,000	119,000	119,000

※注記

- ・詳しくは「下関市手数料条例」を確認ください。
- ・手数料は建築基準法の建築物の床面積に応じて徴収する（増改築の場合は増加する床面積に応じた金額）
- ・非住宅建築物等とは非住宅建築物又は複合建築物のうち非住宅部分をいう
- ・工場等とは建築基準法上の用途が、工場、危険物の貯蔵又は処理に供する建築物、水産物の増殖場若しくは養殖場、倉庫、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他の処理施設をいう
- ・工場等の部分を含む建築物の手数料は、工場等の部分以外の部分の床面積に応じて（一）又は（二）の額と、工場等の床面積に応じて（三）又は（四）の額を合算して算定した額 a と、工場等の部分以外の部分の床面積をみなした場合の全体の床面積に応じて（一）又は（二）に定める額 b の、a、b いずれか低い額とする